



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フュートレック
コード番号 2468 URL <http://www.fuetrek.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤木 英幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 嶋田 和子

TEL 06-4806-3112

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,243	23.5	252	63.8	252	61.2	122	44.0
23年3月期第2四半期	1,006	3.5	153	△39.4	156	△40.0	84	△45.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 96百万円 (23.7%) 23年3月期第2四半期 78百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2,625.66	—
23年3月期第2四半期	1,823.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,222	2,673	80.0
23年3月期	3,207	2,649	81.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,578百万円 23年3月期 2,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2,100.00	2,100.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2,100.00	2,100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	24.7	510	5.7	500	2.9	300	5.6	6,442.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	47,296 株	23年3月期	47,296 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	732 株	23年3月期	732 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	46,564 株	23年3月期2Q	46,564 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、設備投資や個人消費には持ち直しの動きが見られました。

しかしながら、世界的な金融市場の混乱や株価の低迷、円高の進行、雇用環境の低迷により、景気の先行き不透明感が拭えない状況が続いております。

当社グループの主なビジネスマーケットであります携帯電話業界におきましては、スマートフォンの勢いが反映されたことにより携帯電話出荷台数は2011年8月度において2,917千台、前年同月比149.1%となっております。

このような経済環境のもと当社グループにおいては、音声認識・UIソリューション事業分野、音源事業分野を核に積極的なビジネスを展開しました。

第1四半期連結会計期間においてイズ株式会社（以下、「イズ」という。）の株式を取得し、子会社としております。これによりCRMソリューション事業分野を当社グループの新たな事業ドメインと位置付け、新規事業分野進出によるさらなる事業拡大を進めてまいります。

また、スマートフォンやタブレット端末を活用した業務支援ソリューションへの事業展開を加速させるために、新たに音声認識製品ブランド vGate（ブイゲート）を立ち上げました。このブランド化によりフュートレックグループが今後の音声認識事業を展開するにあたり、従来の顧客製品への技術の組み込みを提案するビジネスにとどまらず、当社グループが自ら直接製品を企画・販売し、さらなる事業拡大を図ってまいります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績としましては、売上高は1,243百万円（前年同四半期比23.5%増）、営業利益は252百万円（同63.8%増）、経常利益は252百万円（同61.2%増）、四半期純利益は122百万円（同44.0%増）となりました。

セグメントごとの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、次のとおりです。

セグメントの名称	第11期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	第12期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	増減 (百万円)
ライセンス	898	1,133	234
音声認識・UIソリューション	560	692	131
音源	337	235	△102
CRMソリューション	—	205	205
ライセンス以外	107	109	1
基盤	45	45	0
カード	62	63	1
売上高合計	1,006	1,243	236

① ライセンス（音声認識・UIソリューション事業分野、音源事業分野、CRMソリューション事業分野）

売上高は1,133百万円（前年同四半期比26.1%増）となりました。

音声認識・UIソリューション事業分野の売上高は692百万円（同23.5%増）となりました。カスタマイズ業務による収入は減少しましたが、第3四半期連結会計期間に予定しておりましたイニシャルフィーによる収入が当第2四半期連結会計期間に計上されたこと、ランニングロイヤルティによる収入が順調に推移したことから売上増となりました。

音源事業分野の売上高は235百万円（同30.4%減）となりました。イニシャルフィーによる収入は増加しましたが、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモとの音源IPライセンス契約に基づくロイヤルティ収入は、国内市場における音源搭載台数の伸び悩みにより減少となりました。

CRMソリューション事業分野の売上高は205百万円であります。

第1四半期連結会計期間において新しくグループに加わったイズの持つCRM製品の売上が寄与しております。

当社のコア技術である音声認識・音声合成・音声対話とイズのWebアプリケーション開発能力を融合させながら、ソリューションビジネスへの展開を図り新たな業界への進出を目指してまいります。

② ライセンス以外（基盤事業分野、カード事業分野）

売上高は109百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。

基盤事業分野の売上高は45百万円（同 1.5%増）となりました。カスタマイズ業務による収入は減少しましたが、新規プロジェクト「E検定～電気・電子系技術者育成プログラム～」による収入に加え、イズの子会社化に伴い連結子会社となった株式会社スーパーワン（イズの子会社）の売上が寄与し、前第2四半期連結累計期間と比較し、ほぼ横ばいとなりました。

カード事業分野の売上高は63百万円（同 2.1%増）となりました。英語リスニング模擬試験用メモリーカードの書込みによる収入は微増となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ14百万円増加し3,222百万円となりました。

資産は、流動資産が2,282百万円（前連結会計年度末比241百万円減）、固定資産が939百万円（同256百万円増）となりました。

流動資産の主な減少要因は、現金及び預金の減少272百万円及び有価証券の減少200百万円によるものであり、固定資産の主な増加要因は、イズの株式取得による子会社化により発生したのれん140百万円の増加によるものであります。

負債は、流動負債が377百万円（前連結会計年度末比177百万円減）、固定負債が171百万円（同168百万円増）となりました。

流動負債の主な減少要因は、短期借入金の返済による減少200百万円によるものであり、固定負債の主な増加要因は、イズの子会社化により発生した長期借入金170百万円の増加によるものであります。

純資産は、利益剰余金の増加24百万円等により2,673百万円（前連結会計年度末比23百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、平成23年5月9日公表の数値から変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,009,911	737,832
売掛金	439,581	653,990
有価証券	1,000,000	800,000
仕掛品	20,336	32,529
その他	55,830	61,060
貸倒引当金	△1,375	△2,470
流動資産合計	2,524,283	2,282,942
固定資産		
有形固定資産	70,342	102,725
無形固定資産		
のれん	51,243	187,193
その他	226,901	290,680
無形固定資産合計	278,144	477,873
投資その他の資産	334,360	358,583
固定資産合計	682,847	939,183
資産合計	3,207,131	3,222,125
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,214	59,692
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	—	40,836
未払法人税等	175,904	128,024
賞与引当金	39,705	50,683
その他	64,039	98,240
流動負債合計	554,864	377,476
固定負債		
長期借入金	—	170,705
リース債務	753	455
その他	2,010	—
固定負債合計	2,764	171,160
負債合計	557,629	548,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	716,570	716,570
資本剰余金	914,795	914,795
利益剰余金	1,029,028	1,053,505
自己株式	△69,963	△69,963
株主資本合計	2,590,429	2,614,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,257	△36,488
その他の包括利益累計額合計	7,257	△36,488
少数株主持分	51,814	95,070
純資産合計	2,649,501	2,673,488
負債純資産合計	3,207,131	3,222,125

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,006,177	1,243,110
売上原価	489,954	465,550
売上総利益	516,223	777,560
販売費及び一般管理費	362,388	525,535
営業利益	153,834	252,025
営業外収益		
受取利息	1,840	1,230
受取配当金	250	704
その他	458	646
営業外収益合計	2,548	2,580
営業外費用		
支払利息	62	2,551
営業外費用合計	62	2,551
経常利益	156,321	252,054
特別利益		
貸倒引当金戻入額	400	—
特別利益合計	400	—
特別損失		
固定資産除却損	—	148
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	240	—
損害賠償金	—	360
特別損失合計	240	508
税金等調整前四半期純利益	156,481	251,545
法人税、住民税及び事業税	47,320	125,940
法人税等調整額	16,532	△14,799
法人税等合計	63,852	111,140
少数株主損益調整前四半期純利益	92,628	140,404
少数株主利益	7,697	18,143
四半期純利益	84,931	122,261

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	92,628	140,404
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△14,499	△43,745
その他の包括利益合計	△14,499	△43,745
四半期包括利益	78,129	96,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,432	78,515
少数株主に係る四半期包括利益	7,697	18,143

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。